


政務活動費項目別支出一覧表

会派名：精華の会


支出年度	29年度	支出項目	調査研究費	
整理番号	支出年月日	金額(円)	内容	備考
1	H29. 8. 7	339, 310	交通費	高崎市・寒川町 会派研修
2	H29. 8. 15	4, 644	手土産	〃
3	H29. 8. 21	7, 840	交通費	〃
合計		351, 794		

第5 取扱い基準各種様式
手引き様式第1

支 出 伝 票

会 派 名	精華の会	代表者		経理 責任者	
支出年度	29年度	整理番号 (項目別)	1		
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情等活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費				
支出年月日	平成29年 8月 7日				
支出金額	339,310円				
支出先	有限会社 トラビュー観光				
支出内容	8/17~8/18 宿泊費及び交通費(高崎市・寒川町) 別紙明細参照				
備 考	会派研修報告書添付				

領収書等貼付欄

領 収 証	
精華の会様 精華の会様	No 010087 平成29年8月7日
金額 ¥339,310-	
但し 8/17-18 旅行費用として 上記の金額正に領収いたしました	
 収入印紙 200円	内 訳 税抜金額 消費税額 (%)
京都市東山区福稲柿本町27番3号604 有限会社 トラビュー観光 TEL (075) 531-1677	

※按分がある場合は、備考欄に按分率を記入のこと。

重ねないで裏面をのり付けしてください。貼りきれないときは別紙に。

ご旅行精算書及び請求書

発行日 平成29年 8月 4日

ご請求額	¥339,310
------	----------

有限会社 トラビュール観光
 京都市東山区福祇本郵便103
 TEL 075-531-5677
 FAX 075-531-5772

精華町議会 精華の会				大人 8名	添乗員 有 (無)
様				担当者	
2017年 8月 17日 ~ 8月 18日			ご旅行代金として	税込価格	
月日	項目	人員	単価	支払金額	備考
8月17日~8月18日	JR代金(京都→高崎)乗車・特急券	7名	18,700	130,900	
"	宿泊代金(高崎ワシントンホテルプラザ)シングル利用	7名	7,080	49,560	1泊朝食
"	JR代金(高崎→東京)乗車・特急券	7名	5,130	35,910	
"	" (東京→寒川)乗車券	7名	1,080	7,560	
8月18日	" (京都→寒川)乗車券・特急券	1名	12,820	12,820	
"	" (寒川→京都)乗車券・特急券	8名	12,820	102,560	
				以下余白	
				339,310	
出 預 発 前 金		旅 預 行 中 金	総 費 用	339,310	差 不 引 足 過 金 339,310

振込先 銀行名

口座名 有限会社 トラビュール観光

御 氏 名 精華町議会 精華の会 様 御 一 行

7名様

日程 期日 行程 表

日程	期日	行程
一	8/17 (木曜)	※8:00 近鉄・京都駅改札口付近ご集合 のぞみ 112号 京都駅 → 新幹線 → 東京駅 8:26 発 とき 363号 東京駅 → 新幹線 → 高崎駅 10:56 発 11:45 着 高崎駅西口から徒歩3分・・・ホテル 公務
二	8/18 (金曜)	ご宿泊 高崎ワシントンホテルプラザ (シングルルーム1泊朝食付き) ☎ (027) 324-5111 MAXとき 310号 高崎駅 → 新幹線 → 東京駅 9:34 発 10:28 着 快速アケナイ ※お乗り換え 東京駅 → 新幹線 → 相模線 → 寒川駅 10:37 発 11:30 着/11:34 着 ※お乗り換え 寒川駅 → 相模線 → 茅ヶ崎駅 → 相模線 → 小田原駅 → 新幹線 → 京都駅 15:09 発 15:17 着/15:24 発 15:49 着/16:08 発 ひかり 519号 解散お疲れ様でした 18:11 着

平成29年7月19日

取扱主任者	担当者
-------	-----

京都府知事登録旅行業 第3・428号
 有限会社トラビュー観光
 京都市東山区福稲柿本町27コーポ大敬103
 TEL:075-531-5677 FAX:075-531-5772

御 氏 名 精華町議会 精華の会 機 御 一 行

1名様

日程	期日	ご 旅 程 表	
一 日 目	8/18 (金曜)	ひかり 512号	
		京都駅	小田原駅
		8:32 発	10:35 着
		※お乗り換え	
		小田原駅	相模線
		10:55 発	11:19 着/11:34 発
		公務	
		※お乗り換え	
		寒川駅	相模線
		15:09 発	15:17 着/15:24 発
			15:49 着/16:08 発
			18:11 着

平成 29 年 8 月 3 日

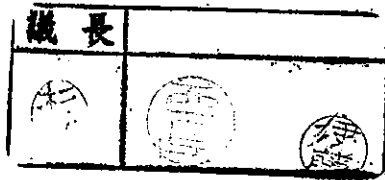
取扱主任者	担 当 者
-------	-------

京都府知事登録旅行業 第3-428号

有限会社トラビュー観光

京都市東山区福稻柿本町 27 コーポ大敬 103

TEL:075-531-5677 FAX:075-531-5772



(会派) 研修報告書

平成 29 年 9 月 9 日報告

編纂種別	議長	副議長	委員長	会派代表者		事務局長
議員研修 (委員会・会派)						
回覧						
報告者	(精華の会) (会派代表)			森元 茂	印	
標 題	精華の会視察研修について					
研 修 日 時	自 平成 29 年 8 月 17 日 (木曜日)		7 時 30 分から			
	至 平成 29 年 8 月 18 日 (金曜日)		18 時 30 分まで			
研修場所	1 群馬県高崎市 2 神奈川県寒川町					
主 催	精華町議会 精華の会派					
参加者	杉浦正省、三原和久、塩井幹雄、森田喜久、宮崎睦子、岡本 篤 奥野弘佳、森元 茂					
内 容						
<p>上記のとおり管外研修を実施しましたので、下記のとおり報告します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 研修の目的 (計画・事前の資料等) <ul style="list-style-type: none"> 1 高崎市 高齢者買い物支援事業について 2 寒川町 議会のペーパーレス化タブレット導入の経緯と運用について ○ 研修の行程と経費 <p>別添添付</p>						

○ 研修参加者のレポート

別添添付

○ 研修報告（内容）

1 高崎市 高齢者買い物支援事業について

高崎市は、高齢者安心プラン（平成24年度～平成26年度）策定に先立ち、平成23年度6月から地域課題の洗い出し作業を実施し、農村部以外でも買い物弱者の存在が明らかになったことから、高齢者買い物支援4事業に取り組んでいます。その中の一つの「高齢者の見守りを兼ねた移動販売支援事業」は、買い物困難地域で、高齢者の見守りを兼ね、食料品を中心とした日常生活物資全般の販売を行う移動販売事業者の車両購入費や運営費の一部に対し補助する制度で、平成24年4月から開始されているなどの研修を受けた。

2 寒川町 議会のペーパーレス化タブレット導入の経緯と運用について

寒川町議会の議会改革にあたって、議会改革推進委員会を設置。平成26年1月からペーパーレス化にむけて議会主導でタブレット端末機の導入について本格検討が開始された。そして、・タブレット端末機導入の経緯 ・端末機導入によるコスト削減 ・端末機導入へのスケジュール ・議会内でのタブレット端末機の運用状況などについて、文書管理システム・運用方法、執行部との情報提供やあり方の説明を受け、実際にタブレット端末を使いながら研修を受けた。

○ 【所感】

1 高崎市 高齢者買い物支援事業について

高崎市高齢者安心プランの策定にともない、平成23年6月の地域課題の洗い出し作業で、買い物に困っている高齢者が浮き彫りになった経緯から、3つの支援策①家まで商品を届けよう～配達の充実～②身近な場所に店を作ろう～移動販売の充実～③家から出やすくしよう～移動手段の確保～（公共交通を利用しなくてはいけないため、高い公共性がある）を策定されました。そして、高齢者買い物支援4事業①高齢者の見守りを兼ねて移動販売事業（事業者11者、NPO1者）②倉渕地域高齢者買い物支援事業（中山間地であり過疎地域で、高齢化率43.6%の地区への送迎事業であり、特に医療機関への送迎は喜ばれているとのこと。）③高齢者等買い物代行業（家まで商品を届けよう。実費1回100円、市の補助300円。）④高齢者向け買い物支援タクシーチケット交付事業（町内会の支援体制などが重要であり、また厳しい利用条件もあるが、乗り合いによる効

率的な利用が図られているとのこと。)が現在実施されているとのことでした。

どの事業も、買い物難民といわれる高齢者にとって、大変うれしい事業であると感じました。

今回は高齢者の見守りを兼ねて移動販売事業だけの研修であったが、高齢者買い物支援事業のなかの1つの事業であり、他の支援事業との連携が重要となっており、扱う商品、日程などは地域に合わせて事業者が設定している。また同時に高齢者の見守りを兼ねており安否確認などに役立っている。

また、取り扱う商品や日程などを行政側で調整し、事業者通しが地域での販売をかぶらないようにしている。月次報告書を事業者から提出してもらい。高齢者の地域での様子を事業者から聞き取り調査(28年度26887人)のデータを集め、「情報提供」「不安解消」「早期発見」「早期対応」で移動販売を利用した見守りへの配慮を行っている。

本町の桜が丘地域や狛田地域などでも、高齢者から、買い物に大きな不安を抱えているという声を伺い、「まちづくりはどうなっているのか。」と厳しい意見を頂きます。

今後、町においても高齢化が進む中で、移動販売を含めた総合的な高齢者買い物支援対策が必要になってくると思う。

やはり、住民・自治会・社会福祉協議会・行政の連携が必要不可欠であると感じた。特に自治会長、民生児童委員、その上に移動販売者が高齢者の見守りをしていることに感銘を受けた。

また、ボランティア不足と高齢化が課題であり本町と共通する。

本町が、すでに取り組んでいる事業もあるので、住民ニーズにあった良いところを組み合わせた事業展開ができれば、良いと考える。

2 寒川町 議会のペーパーレス化タブレット導入の経緯と運用について

寒川町議会では、先進地である近隣の逗子市議会の視察を経て、導入の検討を開始されたとの事です。私も今回、実際に使わせていただいたところ、「簡単便利」と実感しました。視察をされた寒川町議会議員の皆さんもそう感じられたがゆえの導入だったと思います。議会改革の一環としての導入が検討され、検討内容は、ペーパーレス化により、資料の紙媒体の廃止(年間約10万枚)資料作成・差し替えの時間削減、保管場所・廃棄処理コストの削減、ペーパーよる漏洩の危険性の予防、図や写真などの効果的活用などが挙げられた。

また紙資料が年間約92万円の削減効果や、行政・議会の事務効率化が図られるなど、タブレット導入コストとランニングコストを考へても削減効果は大きいものである。

実際にデモで使用させていただいたが、何不自由なく使用でき、見やすく使い勝手が良かった。操作については、慣れが必要。情報・データ共有の迅速化

が図られていた。また、議場にも当然、持ち込まれ、インターネットの閲覧・検索が可能である。これは、議会中に調べられ、非常に有効であると感じた。

課題は、議員全員が簡単に使用できるかどうかであり、意識改革と研修が必要になってくる。費用も多くかからないので、早急に行政の調整のもと実施に向け検討すべきと考える。

○ 研修先での入手資料等

- ・ 別途添付

研修報告書

平成29年8月23日

精華の会

代表 森元 茂 様

報告者：杉浦 正省

下記のとおり、研修を実施しましたので報告します。

記

1. 研修先名	1 群馬県 高崎市 2 神奈川県 寒川町
2. 研修の目的	1 高崎市 高齢者買い物支援事業について 2 寒川町 議会のペーパーレス化タブレット導入の経緯と運用について
3. 研修内容 (ヒヤリング内容を記載)	
4. 所感 (個人的な感想・本町への応用等)	<p>1 高崎市 高齢者買い物支援事業について</p> <ul style="list-style-type: none">・家まで商品を届けよう、身近な場所に店を作ろう、家から出やすくしようといった、以上の買い物弱者支援の3つのキーワードで、利便性や社会参加・生きがいづくり・介護予防といった観点から①高齢者の見守りを兼ねた移動販売事業、②倉渚地域高齢者買い物事業、③高齢者等買い物代行業業、④高齢者向け買い物支援タクシーチケット交付事業の4事業を展開されている。よく考えられたしくみになっており、住民のニーズにあったきめ細やかな対応をされていて大変参考になった。・特に①については、自治会長、民生児童委員、その上に移動販売者が高齢者の見守りをしていることに感銘をうけた。・本町と交通環境を比較すると、本町の方が公共交通網が発達している。また、すでに取り組んでいる事業もあるので、住民ニーズにあった良いところを組み合わせれば、事業展開ができれば、良いと考える。 <p>2 寒川町 議会のペーパーレス化タブレット導入の経緯と運用について</p> <ul style="list-style-type: none">・まず、議会改革の一環としての導入が検討され、検討内容は、ペーパーレス化により、資料の紙媒体の廃止（年間約10万枚）資料作成・差し替えの時間削減、保管場所・廃棄処理コストの削減、図や写真などの効果的活用などが挙げられた。・紙の資料が年間約92万円の削減効果や、行政・議会の事務効率化が図られるなど、タブレット導入コストとランニングコストを考えても削減効果は大きいものである。・実際にデモで使用させていただいたが、何不自由なく使用でき、見やすく使い勝手が良かった。情報・データ共有の迅速化が図られていた。また、議場にも当然、持ち込まれインターネットの閲覧・検索が可能である。これは、議会中に調べられ、非常に有効であると感じた。

ただ、タブレット導入により閲覧しながら、手書き入力ができるものの、私のようなものでは慣れていないので操作が不安であると感じた。

- ・本町においては、議場のシステムの機器更新の必要があるため、費用面で厳しいと思うが、今後、タブレット端末等の導入を見据えて検討が必要だと考える。導入後の運用規定やルールの策定やofficeソフトなどによる新規作成や編集、また SNS などの情報発信についての検討も必要になってくると考える。いずれにしても、早期の導入を検討すべきである。

視察研修報告書

平成 29 年 8 月 23 日

精華の会

会派代表 森元 茂様

精華の会

三 原 和 久

次のとおり、視察研修報告します。

記

1. 開催日	平成 29 年 8 月 17 日 (木曜日) ~18 日 (金曜日)
2. 出席	出席 1 部欠席
3. 場 所	①高崎市、②寒川町
4. 研修所感	<p>① 12 事業者が見守りを兼ねた移動販売を実施している。取り扱う商品や日程などを行政側で調整し、事業者通しが地域での販売をかぶらないようにしている。また、月次報告書を 12 事業者からだしてもらい。高齢者の地域での様子を事業者から聞き取り調査 (28 年度 26887 人) のデータを集め、「情報提供」「不安解消」「早期発見」「早期対応」で移動販売を利用した見守りへの配慮を行っている。</p> <p>今後の課題は新規事業者の参入への助成、今、事業者の機器更新の補助費用をどのように確保するのが大変である。</p> <p>② タブレット端末の導入により、寒川町議会全体で年間 10 万枚の紙の削減に成功した。また、資料の保管、廃棄処理コストの削減、印刷物では白黒印刷の為、図表や写真が九力的に活用されない。タブレット端末の使用範囲は様々で議会内、外出先、自宅でも使用でき、緊急性の情報等もどこでも入手することができる。今後はデータの保管方法などをどのような取り決めにするかが課題である。</p>
5. 備 考	

研 修 報 告 書

平成29年8月23日

精華の会

森元 茂様

塩井 幹雄

下記のとおり、研修を実施しましたので報告します。

記

1. 研修先名	1. 群馬県 高崎市 2. 神奈川県 寒川町
2. 研修の目的	1. 移動販売事業について 2. 議会のペーパーレス タブレット導入の経緯と運用について
3. 研修内容 (ヒヤリング内容)	
4. 所 感 (個人的な感想・ 本町への応用等)	<p>1 市民からの課題で、買い物に困っている高齢者が多くいてそのために始めた。今回は移動販売だけの研修であったが、高齢者買い物支援事業のなかの1つの事業であり、他の支援事業との連携が重要となっており、扱う商品、日程などは地域に合わせて事業者が設定している。また同時に高齢者の見守りを兼ねており安否確認などに役立っている。</p> <p>今後、町においても高齢化が進むので、移動販売を含めた総合的な高齢者買い物支援対策が必要になってくると思う。</p> <p>2 まず、実際にタブレットを使用して説明をうけたが、完全ペーパーレスの素晴らしさにびっくりしました。議案だけでなく、連絡表。日程表、一般質問通告書など、すべての書類がタブレットで見れて、また自宅にも持って帰れて、時系列に整理されている資料をいつでも確認できるので、非常に便利であると感じた。</p> <p>課題は、議員全員が簡単に使用できるかどうかであり、意識改革と研修が必要になってくる。費用も多くかからないので、早急に行政の調整のもと、実施に向け検討すべきと思います。</p> <p>まず議会、行政とも書類の保管の方針を再考すべき。</p>

研修報告書

平成29年8月24日

精華の会

代表 森元 茂様

氏名 森田 喜久

下記のとおり、研修を実施しましたので報告します。

記

1. 研修先名	1. 高崎市（公務の為、欠席） 2. 神奈川県寒川町
2. 研修の目的	1. 高崎市 2. 寒川町 議会のペーパーレス化、タブレット導入の経緯と運用について
3. 研修内容 （ヒヤリング内容を記載）	
4. 所感 （個人的な感想・本町への応用等）	<p>1. 高崎市</p> <p>2. 寒川市議会 議会のペーパーレス化、タブレット導入の経緯と運用について</p> <ul style="list-style-type: none">・タブレット端末導入の経緯 <p>議会の資料を何とかペーパーレス化ができないものかと5～6年前から考えていた。そのような中でパソコンはなく、タブレット端末を導入した理由としては、老若男女問わず、タッチパネル式で簡単に操作ができ、パソコンに比べ、起動が早く、持ち運びができ、バッテリーのもちが良いなど検討部会の中で理由として上げられた。</p> <p>タブレット導入プロセスについては、平成26年1月に神奈川県逗子市を視察した。</p> <p>平成26年1月から4月にかけて、全員協議会で3社よるプレゼンを実施した。富士ソフト、逗子市が使用した東京インターブレイン、大塚商会の3社。</p> <p>富士ソフトが非常に熱心で親切であった</p> <p>平成27年7月から富士ソフトのmoreNOTEを使っている。議会主導でタブレット端末導入について検討を進めいたが、ペーパーレス化の目的を達成するには執行部との協力は不可欠であるため導入に向け執行機関との調整を行なった。</p> <p>平成27年3月議会から正式に運用を開始したが、当分の間、紙と併用している形になっている。</p>

平成 27 年度中には完全なペーパーレス化を目指す、対比をして見なければならぬような予算書や決算書等に関しては紙で残す予定あるということ。

- ・ 私は、ペーパーレス化は非常にいいことであると思う。保管スペースもあまり必要でなく、書類の整理が行いやすいと思う。

しかし、あまり進みすぎて研修先では、資料など一切がプリントアウトをする事が出来ないということになっているがプリントアウトの行いたい部分はプリントアウト出来るように検討すれば本当にいいことだと私は思った。

最終的には執行部と綿密な打合せが必要だと思う。

研 修 報 告 書

平成29年 8月29日

精華の会 会派代表者

森元 茂 様

(研修参加者)

(氏名) 宮崎 睦子

下記のとおり、研修に参加しましたので報告します。

記

1. 研修先名	1、群馬県高崎市福祉部長寿社会課 2、神奈川県寒川町議会
2. 研修の目的	1、高齢者買い物支援施策について 2、議会のペーパーレス化、タブレット導入の経緯と運用について
3. 研修内容 (ヒヤリング内容を記載)	
4. 所 感 (個人的な感想・ 本町への応用等)	1、高崎市 高齢者買い物支援事業について 高崎市高齢者安心プランの策定にともない、平成23年6月の地域課題の洗い出し作業で、買い物に困っている高齢者が浮き彫りになった経緯から、3つの支援策①家まで商品を届けよう～配達の充実～②身近な場所に店を作ろう～移動販売の充実～③家から出やすくしよう～移動手段の確保～(公共交通を利用しなくてはいけないため、高い公共性がある)を策定されました。そして、高齢者買い物支援4事業①高齢者の見守りを兼ねて移動販売事業(事業者11者、NPO1者)②倉渕地域高齢者買い物支援事業(中山間地であり過疎地域で、高齢化率43.6%の地区への送迎事業であり、特に医療機関への送迎は喜ばれているとのこと。)③高齢者等買い物代行業業(家まで商品を届けよう。実費1回100円、市の補助300円。)④高

齢者向け買い物支援タクシーチケット交付事業（町内会の支援体制などが重要であり、また厳しい利用条件もあるが、乗り合いによる効率的な利用が図られているとのこと。）が現在実施されているとのことでした。

どの事業も、買い物難民といわれる高齢者にとって、大変うれしい事業であると感じました。本町の桜が丘地域や狛田地域などでも、高齢者から、買い物に大きな不安を抱えているという声を伺い、「まちづくりはどうなっているのか。」と厳しい意見を頂きます。本町でも地域福祉計画策定にあたりアンケート調査も実施され、「まちの福祉サポート店」などの取り組みも進めてはいるものの、まだまだ支援体制が整っていないのが現状です。高齢者の運転による交通事故も大きな社会問題となる中、免許証の返還などにともない、さらなる買い物支援、医療機関への送迎など、早急に検討する必要があると考えます。他の自治体で営業されている移動販売事業者への呼びかけも含め、本町が助成することによる高齢者の見守りを兼ねた移動販売事業の拡大を求めたいと思います。また、小型のデマンドタクシー・デマンドバスの運用も検討できないか、今後の課題であると感じています。

2、議会のペーパーレス化、タブレット導入の経緯と運用について

寒川町議会では、先進地である近隣の逗子市議会の視察を経て、導入の検討を開始されたとの事です。私も今回、実際に使わせていただいたところ、「簡単便利」と実感しました。視察をされた寒川町議会議員の皆さんもそう感じられたがゆえの導入だったと思います。そこで重要なのは費用対効果ですが、大きな導入関連経費がかかる一方、タブレットの導入によるコスト削減額は年間約92万円と伺いました。本町でのタブレット導入についての検討はされていない現状ではあるものの、この経費の試算には驚きました。費用対効果の面でも十分検討する価値があると感じました。

私たち議会議員は、常に住民の方々から質問をされます。数字など、このタブレットをすることにより、迅速かつ正確な説明責任が果たせるという利点も考えると、本町でも早期の導入を期待するものです。

研修報告書

平成29年8月22日

精華の会

代表 森元 茂 様

報告者：岡本 篤

下記のとおり、研修を実施しましたので報告します。

記

1. 研修先名	1 群馬県 高崎市 2 神奈川県 寒川町
2. 研修の目的	1 高崎市 高齢者買い物支援事業について 2 寒川町 議会のペーパーレス化タブレット導入の経緯と運用について
3. 研修内容 (ヒヤリング内容を記載)	
4. 所感 (個人的な感想・本町への応用等)	<p>1 高崎市 高齢者買い物支援事業について</p> <ul style="list-style-type: none">・家まで商品を届けよう、身近な場所に店を作ろう、家から出やすくしようといった、以上の買い物弱者支援の3つのキーワードで、利便性や社会参加・生きがいづくり・介護予防といった観点から①高齢者の見守りを兼ねた移動販売事業、②倉渕地域高齢者買い物事業、③高齢者等買い物代行業業、④高齢者向け買い物支援タクシーチケット交付事業の4事業を展開されている。よく考えられたしくみになっており、住民のニーズにあったきめ細やかな対応をされていて大変参考になった。・やはり、住民・自治会・社会福祉協議会・行政の連携が必要不可欠であると感じた。また、ボランティア不足と高齢化が課題であり本町と共通する。・本町と交通環境を比較すると、本町の方が公共交通網が発達している。また、すでに取り組んでいる事業もあるので、住民ニーズにあった良いところを組み合わせた事業展開ができれば、良いと考える。 <p>2 寒川町 議会のペーパーレス化タブレット導入の経緯と運用について</p> <ul style="list-style-type: none">・まず、議会改革の一環としての導入が検討され、検討内容は、ペーパーレス化により、資料の紙媒体の廃止（年間約10万枚）資料作成・差し替えの時間削減、保管場所・廃棄処理コストの削減、図や写真などの効果的活用などが挙げられた。・紙の資料が年間約92万円の削減効果や、行政・議会の事務効率化が図られるなど、タブレット導入コストとランニングコストを考へても削減効果は大きいものである。・実際にデモで使用させていただいたが、何不自由なく使用でき、見やすく使い勝手が良かった。操作については、慣れが必要。情報・データ共有の迅速化が図られていた。また、議場にも当然、持ち込まれ、インターネットの閲覧・検索が可能である。これは、

議会中に調べられ、非常に有効であると感じた。

- ・本町においては、議場のシステムの機器更新の必要があるため、費用面で厳しと思うが、今後、タブレット端末等の導入を見据えて検討が必要だと考える。導入後の運用規定やルールの策定や office ソフトなどによる新規作成や編集、また SNS などの情報発信についての検討も必要になってくると考える。いずれにしても、早期の導入を検討すべきである。

研 修 報 告 書

平成29年 8月28日

精華の会

森元 茂 様

奥野 弘佳

下記のとおり、研修を実施しましたので報告します。

記

1. 研修先名	1. 群馬県 高崎市 2. 神奈川県 寒川町
2. 研修の目的	1. 大型スーパーの進出による商店の減少に伴う、高齢者買い物困難者対策 2. 議会のペーパーレス化、タブレット導入の経緯と運用について
3. 研修内容	1. 高齢者買い物支援施策として移動販売事業・買い物支援事業（買物・医療機関・公共施設等への送迎）・買い物代行業業 買い物支援タクシーチケット交付事業 2
4. 所 感 (個人的な感想・ 本町への応用等)	1. 買い物困難者の3つの鍵として、家まで商品を届けよう（買物代行）、身近な場所に店を作ろう（移動販売）、家から出やすくしよう（買物支援・買い物支援タクシーチケット交付）など、高齢者の自発的活動・社会参加・生きがいつくり・介護予防とよく考えられておられました。また、見守りも兼ね備え行政機関や高齢者安心センターなどとの連携もされました。それぞれに、ボランティアの高齢化、協力事業者の選定規約、補助費の確保など課題はあるものの、高齢者の孤独の防止、生活問題の発見にも役立っておりました。 2. 議会のペーパーレス化とタブレット導入により、印刷・廃棄、資料作成時間コストの削減、議会・外出先など、いつでも資料を手にする事による効率化と、ファイル（議案、情報、連絡、日程）に規制をかけることにより、ペーパーより漏洩の危険性も削減などと、素晴らしく感じましたが、タブレットの取り扱い基準（録画、録音など）とタブレットの操作を全員が一定基準以上の水準に達するための研修、併用使用期間などの課題はあります。

高崎市
高齢者買い物支援施策

平成29年8月17日(木)
福祉部 長寿社会課



1

○高齢者買い物支援事業の概要

■ 導入経緯

■ 高齢者買い物支援4事業

1. 高齢者の見守りを兼ねた移動販売事業
2. 倉渚地域高齢者買い物支援事業
3. 高齢者等買物代行事業
4. 高齢者向け買い物支援タクシーチケット交付事業

○事業に至る経緯

高崎市高齢者安心プランの策定

(高崎市高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画@H24~26年度)

平成23年6月

地域課題の洗い出し作業(日常生活圏域別15カ所)

(各地区の区長会長・民生委員児童委員会長・高崎市社会福祉協議会等が出席)

「買い物に困っている高齢者が浮き彫りに！」

(背景)「買い物困難者」=700万人(経産省:平成27年)と推計。平成23年の推計から4年で100万人の増加

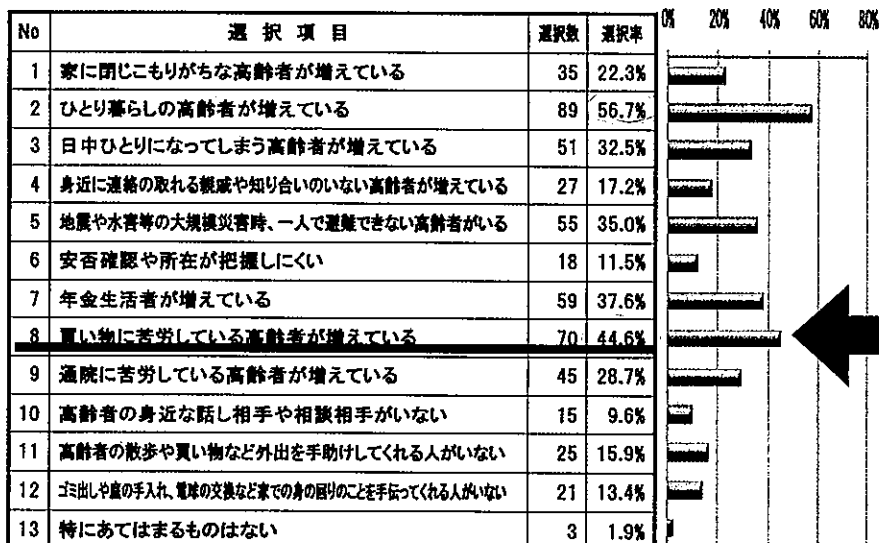
- ①郊外型の大型スーパーの進出などによる身近な商店の減少
- ②ひとり暮らし高齢者・高齢者のみの世帯の増加(家族機能の低下)
→「店までの移動手段がない」、「重い荷物を持って帰れない」等の不便や苦勞

3

○事前アンケート結果 平成23年6月実施分

○回答者数 157人 (内訳) 区長(常任理事等) 50人、民生委員(地区会長) 36人
社会福祉協議会(圏域担当者) 15人
在宅介護支援センター(圏域担当者) 41人
地域包括支援センター(圏域担当者) 15人

【問3】『高齢者の生活課題や問題』について【4つ以内に○】



※高崎市高齢者安心プラン(第5期:P130)より抜粋

4

○3つの支援策

<買い物弱者支援の3つのキーワード>

利便性

社会参加

①家まで商品を届けよう

～配達の充実～

高

低

②身近な場所に店を作ろう

～移動販売の充実～

中

中

③家から出やすくしよう

～移動手段の確保～

低

高

②・③は高齢者の自発的な活動を促すことから、「社会参加・生きがいつくり・介護予防」といった観点からも大変有効であると考えられます。

5

○高齢者買い物支援4事業

1. 高齢者の見守りを兼ねた移動販売事業

平成24年4月1日事業開始

2. 倉淵地域高齢者買い物支援事業

平成24年11月16日運行開始

3. 高齢者等買物代行事業

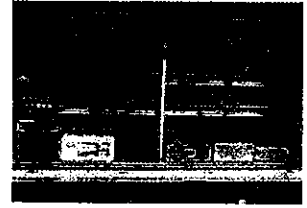
平成25年8月15日事業開始

4. 高齢者向け買い物支援タクシーチケット交付事業

平成25年12月16日事業開始

6

平成24年4月1日事業開始



1 高齢者の見守りを兼ねた移動販売事業

買い物弱者支援の3つのキーワード

②身近な場所に店を作ろう



7

1 高齢者の見守りを兼ねた移動販売事業 (H29当初予算額:4,860千円)

○対象＝市内で移動販売事業を行うNPO法人又は商工会会員

○補助内容

①運営費補助 (月額1万円)

→買い物困難地域で、1週間に1回、概ね10人以上の高齢者に対して、「見守り活動」を兼ねた日用生活物資全般の移動販売事業を行う場合

②車両購入費補助 (上限100万円)

※車両本体及び設備設置にかかる費用の1/2を一括補助

※「見守り活動」＝地域の状況又は高齢者等の日常生活で異変を感じた時は、関係行政機関に連絡すること。

☆事業者は「安心見守り中」のステッカーを車に貼付



30

4/20/11

8

○移動販売を通じた見守りへの期待

- ・利用者のほとんどが移動手段のない高齢者。
→何らかの見守りや支援が必要な人が集まってくれるのではないか
- ・毎週、顔を合わせており、顔馴染みの関係、信頼関係がある。
→移動販売の店主は体調や様子の変化にも気づきやすい

見守りネットワークの一員としての役割を担ってもらう



- 『情報提供』
 - ・高齢者あんしんセンターのリーフレットを配布
- 『不安解消』
 - ・見守りや声かけによる対応
- 『早期発見』
 - ・普段と様子が異なる場合は、あんしんセンターへ情報提供(安否確認)
- 『早期対応』
 - ・介護保険サービス利用へつなぐ
 - ・民生委員との連携した見守り
 - ・権利擁護等

9

○現在の実施状況

- 12事業者が見守りを兼ねた移動販売を実施
→事業者11者、NPO1者(平成29年4月1日現在)
- 取り扱う商品や日程などはさまざま
- 月次報告の際に高齢者や地域の様子を事業者から聞き取り
- 平成28年度の利用者
・・・延べ26,887人
(1か月あたり延べ2,241人)



10

○移動販売誘致のプロセス(剣崎町上町内会)

- ・高台に造成された住宅団地で、とにかく坂が多い。
- ・道が狭くバスが入っていけないため、移動手段が限定される。
- ・町内にあるスーパーが閉店し、買い物弱者問題が浮き彫りに！

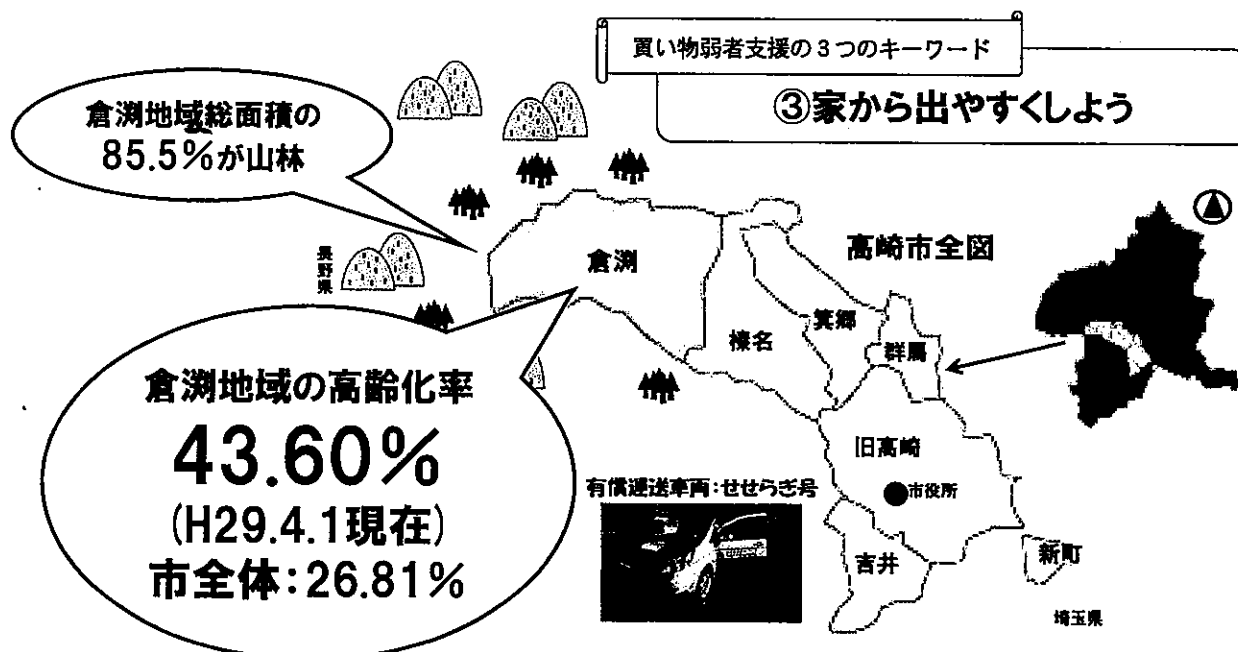


- ①移動販売ニーズの把握
- ②町内の調整(町内のコンセンサスを得る)
- ③事業者との調整
- ④販売スペースの確保
- ⑤町内の高齢者への周知

11

平成24年11月16日運行開始

2 倉渚地域高齢者買い物支援事業



12

2 倉渕地域高齢者買い物支援事業（H29当初予算額：710千円）

- (実施主体) 高崎市社会福祉協議会（倉渕支所）
- (補助内容) 運営費、車両維持費
- (事業内容) 倉渕地域で、ボランティアが運転する車で利用者宅と地域内の商店または最寄りのバス停間の送迎事業を実施する。平成28年度からは、医療機関や公共施設等への送迎も可能とした。
- (対象者) 倉渕地域在住の65歳以上の高齢者で会員登録した人
- (運行区域) 倉渕地域内
- (運行日) 月～金曜日
※運行日の10時まで（午前運行は前日16時まで）に予約
- (利用料金) 往復200円（片道100円）事前に利用券を購入
- (その他) 本事業は、道路運送法に規定される「公共交通空白地有償運送」を活用して実施していることから、運輸支局、バス協会、地元代表区長等で構成される「公共交通空白地有償運送運営協議会」において、運行状況の確認等を行っている。

※公共交通空白地有償運送とは、タクシーなどの公共共通機関では十分な運送サービスが確保できない場合に、社会福祉法人やNPO法人等の自家用車を使用した有償運送が認められる運送形態。道路運送法施行規則第49条参照

13

○実施状況・成果

※ 利用実績が低調だったことから、段階的に運行形態等を変更

- 【開始当初】・木・金曜日（地区による利用日の指定）
・運行時間 12時30分～17時 ※予約は前日10時まで
- 【変更①】・毎週火～金曜日（地区による利用の制限なし）
（H25.7～） ※予約は当日の10時まで
- 【変更②】・運行時間 9時30分～17時
（H26.4～） ※予約は当日の10時（午前利用のみ前日16時）まで
- 【変更③】・毎週月～金曜日
（H28.4～）・送迎場所に医療機関、公共施設等を追加

運行回数	利用人数	運行回数	利用人数	運行回数	利用人数
26回	延べ26人	74回	延べ76人	158回	延べ203人

→徐々に定期的な利用者（リピーター）が増えてきている

14

平成25年8月15日事業開始

3 高齢者等買物代行事業

買い物弱者支援の3つのキーワード

①家まで商品を届けよう



15

3 高齢者等買物代行事業 (H29当初予算額:4,000千円)

(実施主体) 高崎市社会福祉協議会

(補助内容) 運営費、報償費及び事務費

(事業内容) 買物代行ボランティアが、買物に困っている高齢者(利用者)の依頼を受け、代わりに買物をする。ボランティアと利用者は市社会福祉協議会に登録。社協は両者のマッチングやボランティアへの事業説明、事業管理などを行う。

(対象者) 市内在住で、日常的な買い物に困難を抱えている人

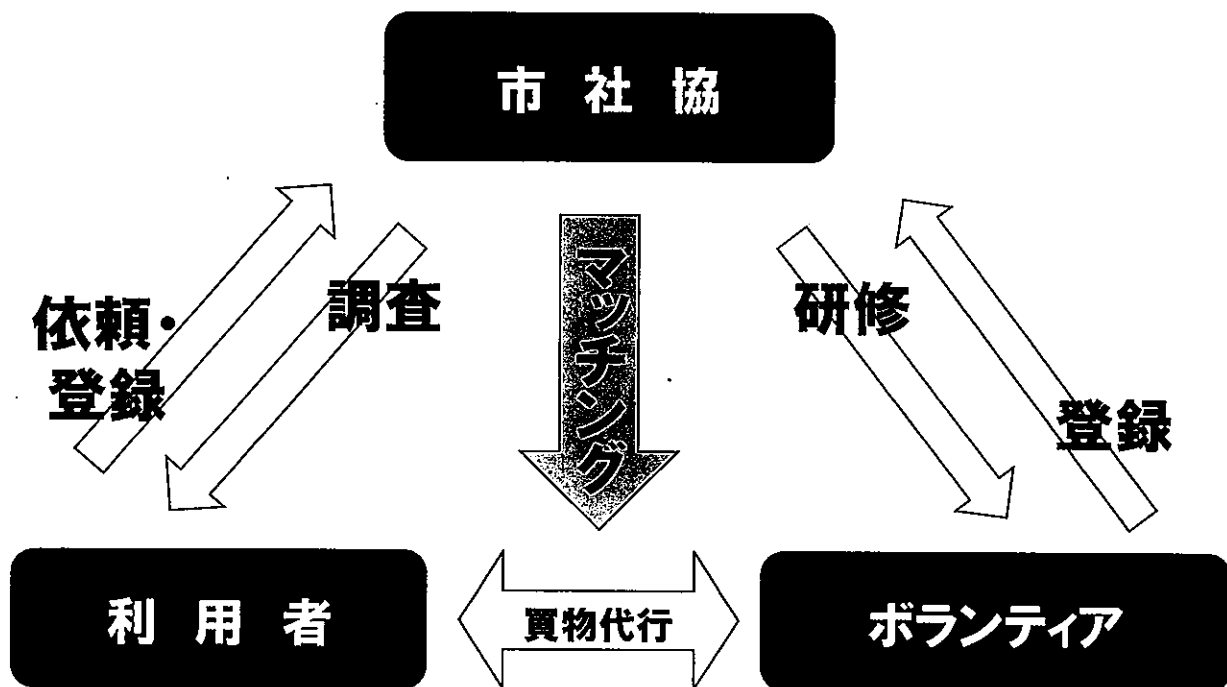
(利用料) 1回100円(利用者が社協から事前に利用券を購入)

(謝礼金) ボランティアには買物代行1回につき400円の謝礼

(活動報告等) ボランティアは月に1回、活動実績・高齢者の様子を社協に利用券を添付して報告。利用者の見守りの観点から、健康状態や消費者被害など気になることがある場合は、社協や高齢者あんしんセンターに連絡を行う。

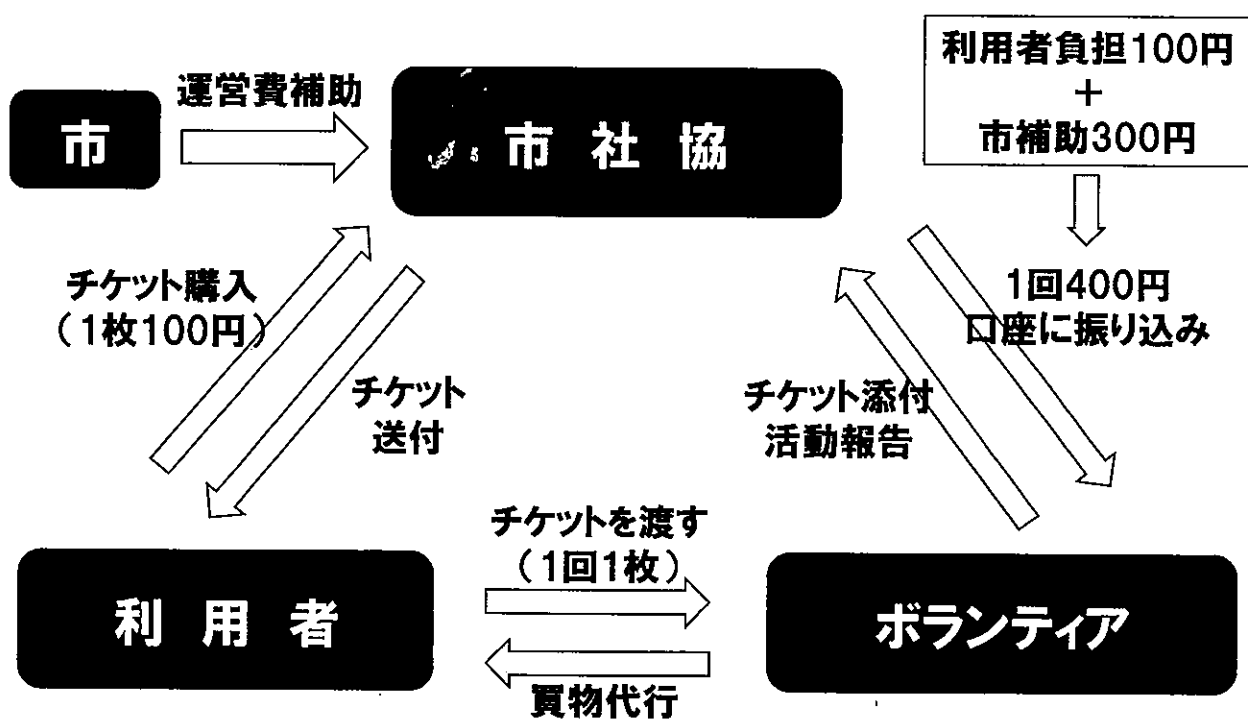
16

○依頼から利用までの流れ



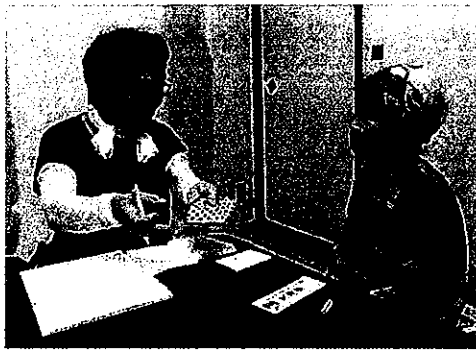
17

○利用料等の流れ



18

○買物代行の手順



①訪問



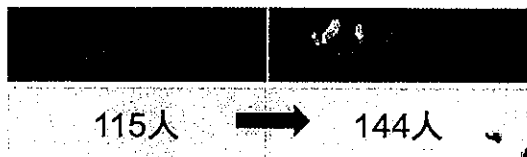
②買物代行



③商品お届け

○利用登録者の内訳(平成28年度末)

●登録者数



●男女別割合

男	30人	21%
女	114人	79%

●世代別

40代	2人	1%
50代	2人	1%
60~64	4人	3%
65~69	12人	8%
70~74	13人	9%
75~79	18人	13%
80~84	47人	33%
85~89	34人	24%
90代	12人	8%

○ボランティア登録者の内訳(平成28年度末)

●登録者数



199人 → 206人

●男女別



男 47人 23%

女 159人 77%

●世代別



20代 2人 1%

30代 5人 2%

40代 13人 6%

50代 15人 7%

60代 77人 37%

70代 89人 43%

80代 5人 2%

21

○事業の実績・効果

●代行稼働数



907回

2,251回

2,397回

2,871回

①見守りや孤独の防止

- ・毎回、同じボランティアが訪問することで関係性ができ、積極的に関わりを持ってくれるボランティアが現れており、見守りや孤独の防止につながっている。
- ・活動以外の時に、利用者に料理を届けるなど、友達として訪問するボランティアもいる。

②新たな生活問題の発見

- ・買い物以外での生活面の問題が把握されるケースも多く、他の事業を絡めて、生活全般の支援を行っている。

22

○課題・問題点

①登録ボランティアの偏り

- ・地区によってボランティアの数にばらつきがある。
- ・同地区内でもある程度の数確保できないと持続できない。

②ボランティアとの相性を見極め

- ・価値観や意思の疎通などでトラブルに。
→利用者の希望や意図した商品と違うものを購入
- ・ボランティアの変更で、マッチングに時間がかかる。

ボランティアの確保が急務

長寿会や婦人会への登録を要請し、ボランティアの確保を図る。
(平成27年度から会員の活動実績に応じて団体へ補助金を交付)

23

平成25年12月16日事業開始

4 高齢者向け買い物支援 タクシーチケット交付事業

買い物弱者支援の3つのキーワード

③家から出やすくしよう



24

4 高齢者向け買い物支援タクシーチケット交付事業

(H29当初予算額:1,400千円)

(実施主体) 町内会

(事業内容) 日常生活物資全般の購入が困難な地域で、親族等からの支援が得られないひとり暮らし高齢者等を対象に、タクシーを利用した買い物支援を行う町内会に対して、タクシーチケットを交付。

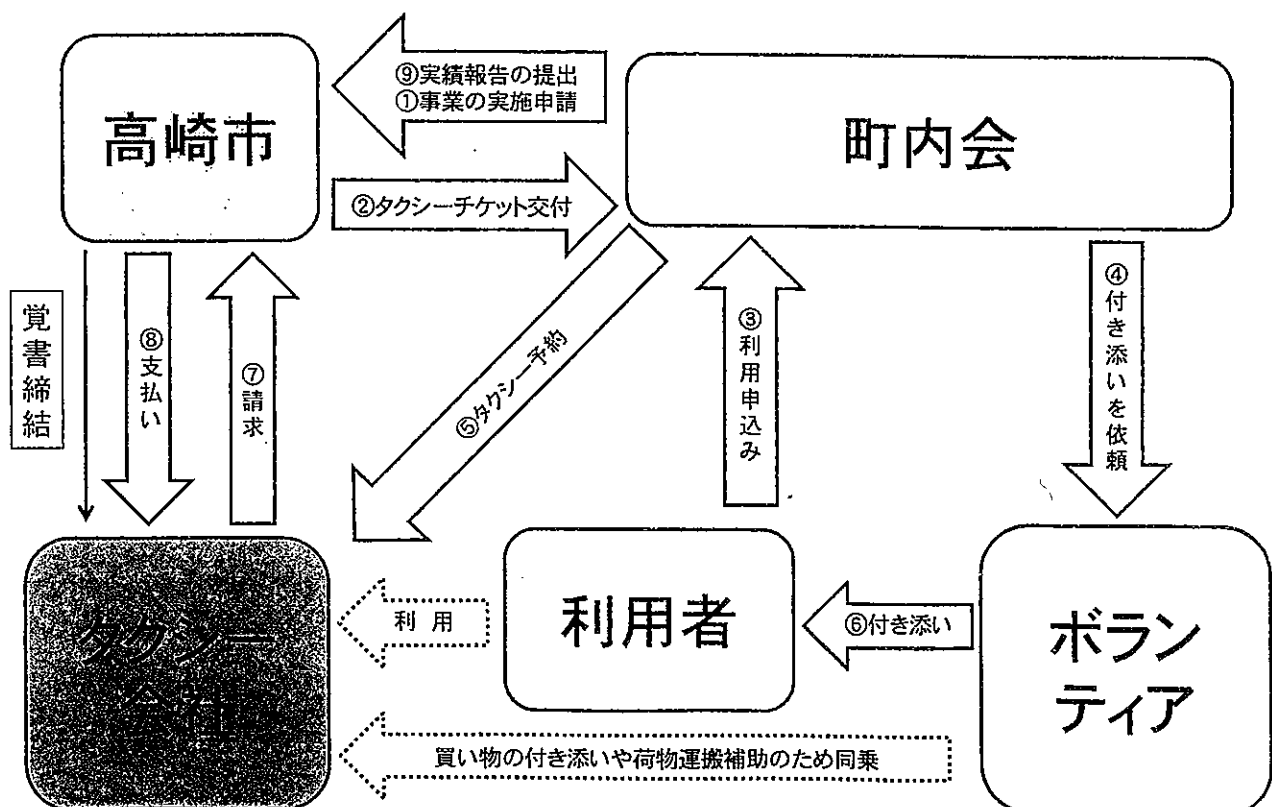
(利用料) 1回100円(ボランティアに謝礼として支払う)

(利用条件)

- ・町内会の区域の辺縁部から概ね1kmの範囲内に生鮮食料品を中心とした生活物資を購入することができる小売店舗等がなく、公共交通機関の利用が困難な地域であること。
- ・運行時には、買い物や荷物の運搬補助を行う付き添いボランティアが同行すること。

25

高齢者向け買い物支援タクシーチケット交付事業 全体図



26

【実施状況・成果等】

＜運行実績＞（平成28年度）6町内会

運行回数	延べ782人
319回	

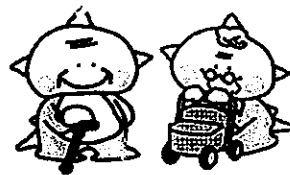
＜事業の検証＞

- ・平成27年度からモデル地区以外へも実施地域を拡大。
- ・利用者に好評である。利用者同士の会話も弾んでいる。
- ・地域による支え合い活動（付き添いボランティア）が行われている。
- ・運行日を決めたり、班分けをするなど、町内会が工夫して実施している。
- ・乗り合いによる効率的なタクシー利用が図られている。

＜課題等＞

- ・町内会内の利用希望者の把握
- ・町内会の支援体制が必要
- ・付き添いボランティアの確保

27



ご清聴ありがとうございました

28

第5 取扱い基準各種様式
手引き様式第1

支 出 伝 票

会 派 名	精華の会	代表者		経理 責任者	
支出年度	29年度	整理番号 (項目別)	2		
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情等活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費				
支出年月日	平成29年 8月15日				
支出金額	4,644円				
支出先	松雲堂				
支出内容	手土産 (高崎市・寒川町)				
備 考					

領収書等貼付欄

領 収 書

精華の会

様

2017年 8月 15日
No. 00001357

¥4,644-

税抜合計 ¥4,300-
消費税等 ¥344-

収入
印紙

但し、御品代として上記の金額正に領収致しました。

御菓子司松雲堂 京都府相楽郡精華町祝園一丁田5-23
TEL0774-94-2339



* お 願 い * この領収書は、感熱紙の為保管にご注意下さい。

※按分がある場合は、備考欄に按分率を記入のこと。

重ねないで裏面をのり付けしてください。貼りきれないときは別紙に。

第5 取扱い基準各種様式
手引き様式第1

支 出 伝 票

会 派 名	精華の会	代表者		経理 責任者	
支出年度	29年度	整理番号 (項目別)	3		
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情等活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費				
支出年月日	平成29年 8月21日				
支出金額	7,840円				
支出先	近畿日本鉄道株式会社				
支出内容	近鉄 新祝園駅～京都駅 往復運賃 8名				
備 考					
領収書等貼付欄 ・ ※別添 旅費計算書					

※按分がある場合は、備考欄に按分率を記入のこと。

重ねないで裏面をのり付けしてください。貼りきれないときは別紙に。

旅費計算書(交通費)

利用月日	出発地	到着地	交通機関	単価	人数	金額	領収書	備考
平成29年 8月17日	京都駅	高崎駅	(鉄道)航空機・バス・他 運賃(片道・往復)・ 料金(特急・急行・指定)	18,700	7	130,900	あり	整理番号 1
平成29年 8月18日	高崎駅	東京駅	(鉄道)航空機・バス・他 運賃(片道・往復)・ 料金(特急・急行・指定)	5,130	7	35,910	あり	整理番号 1
平成29年 8月18日	東京駅	寒川駅	(鉄道)航空機・バス・他 運賃(片道・往復)・ 料金(特急・急行・指定)	1,080	7	7,560	あり	整理番号 1
平成29年 8月18日	京都駅	寒川駅	(鉄道)航空機・バス・他 運賃(片道・往復)・ 料金(特急・急行・指定)	12,820	1	12,820	あり	整理番号 1
平成29年 8月18日	寒川駅	京都駅	(鉄道)航空機・バス・他 運賃(片道・往復)・ 料金(特急・急行・指定)	12,820	8	102,560	あり	整理番号 1
平成29年 8月17日	新祝園駅	京都駅	(鉄道)航空機・バス・他 運賃(片道・往復)・ 料金(特急・急行・指定) 近畿日本鉄道株式会社	490	8	3,920	なし	整理番号 3
平成29年 8月18日	京都駅	新祝園駅	(鉄道)航空機・バス・他 運賃(片道・往復)・ 料金(特急・急行・指定)	490	8	3,920	なし	整理番号 3
平成 年 月 日			鉄道・航空機・バス・他 運賃(片道・往復)・ 料金(特急・急行・指定)					
交通費合計額						297,590 円		

旅費計算書(宿泊料等)

(単位:人・円)

利用月日	宿泊施設名	人数	宿泊施設内訳	支払額 (領収書添付額)	1人当たり 金額	政務活動費金額	領収書	備考
平成29年 8月17日	高崎ワシントン ホテルプラザ	7	1泊朝食付 宿泊のみ	49,560 (朝食)	7,080	49,560	あり	旅行会社の明細添付
平成 年 日			1泊朝食付 宿泊のみ	(宿泊料) (朝食)				
平成 年 日			1泊朝食付 宿泊のみ	(宿泊料) (朝食)				
平成 年 日			1泊朝食付 宿泊のみ	(宿泊料) (朝食)				
平成 年 日			1泊朝食付 宿泊のみ	(宿泊料) (朝食)				
宿泊料合計額						49,560		